

三鷹駅南口中央通り東地区再開発ニュース

第 38 号

(平成 29 年 11 月発行)

発行：三鷹駅南口中央通り東地区再開発協議会

連絡先：(事務局)UR都市機構東日本都市再生本部

事業推進部 三鷹駅南口再開発事務所

TEL 0422-70-0556

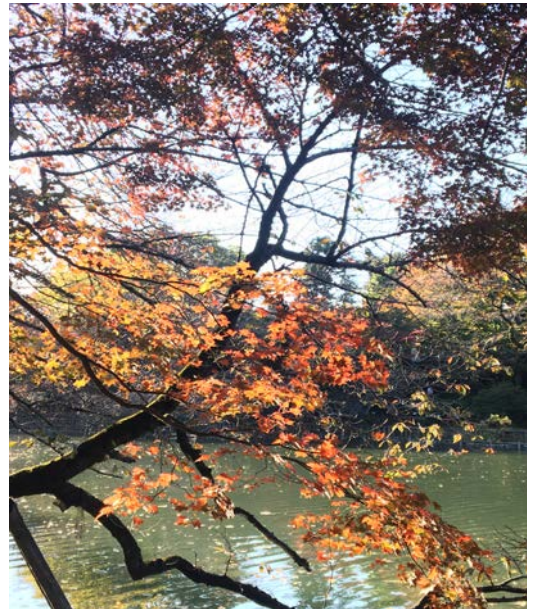


トピックス

- 第86回、第87回勉強会の報告
(商業施設の魅力向上に向けて)
- 三鷹阿波おどりについて
- M-マルシェについて

第 87 回勉強会 (6/23) の報告

○第87回勉強会では、商業施設の魅力向上に向けて再開発事業の中でどういった展開が考えられるのかについてUR都市機構から提案があり、まちづくりのイメージの共有化を図りました。



商業施設の考え方



イベント

多摩地区の中でも有数の頻度と多様性のあるイベントが開催されている



- ・三鷹三人祭り
- ・ふるさとまつり(お祭り)
- ・三鷹阿波おどり
- ・まるごと夏祭り
- ・M-マルシェ
- ・太陽祭フェスティバル

食

中央通り沿線の中でも貴重な、新鮮で安心な食材を提供している



- ・地産野菜
- ・三鷹野菜産地
- ・三鷹野菜で「認定おフェスタ」(おフェスタ)
- ・うれいめいがかたん
- ・ガーデンカフェスタ など

文化・自然

中央通り沿線では数少ない近代の文化と自然資源が周辺に点在している



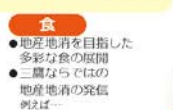
- ・東京都立文学サロン
- ・山本有三記念館
- ・三鷹市歴史と緑の館
- ・三鷹市歴史と緑の館
- ・国分文芸館
- ・中央通り公園 玉川上水
- ・札幌の産、大沢の産 など

三鷹ならではの「コト・モノを活かして 魅力ある商業施設をつくりだす」

みたかて参加する喜びを体験できる



みたかて食べる楽しみを体験できる



みたかて触れる感動を体験できる



イベント

- 再開発で生まれる広場空間の活用
- 中央通りや周辺と連携した既存イベントの活性化や新たなイベントづくり
- 例えば…



イベント + 食

- 三鷹の食を活かしたイベントの開催
- 例えば…

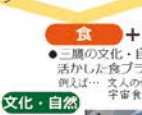


文化・自然

- 人・街・文化がつながる交流拠点の創出
- 環境・施設づくりへの活用
- 例えば…

イベント + 文化・自然

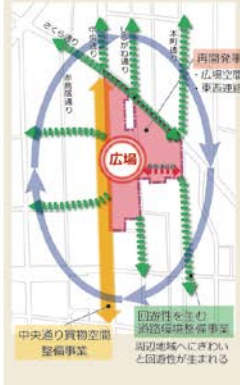
- 三鷹の文化・自然を活かしたイベントの開催
- 例えば…



H29.6.23 再開発協議会第 87 回勉強会
三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業

「回遊性とにぎわいの創出」の実現

以下の重点事業を整備することにより、周辺地域との回遊性とにぎわいが生まれる。



三鷹駅前地区再開発基本計画 2022 の重点事業

再開発事業

三鷹駅前地区の活性化の拠点
・市民の文化交流や暮らしやすさの貢献
・にぎわいの創出
・市の玄関口になるさわいい中心市街地の形成

中央通り買物空間整備事業

快適な歩行空間の創出
魅力的な買物空間の創出
他事業との連携

回遊性を生み道路環境整備事業

高品位な道路整備
快適な歩行空間の創出
回遊性とにぎわいの創出

第86回勉強会（5/19）の報告

5月19日に協議会通常総会と第86回勉強会が開催されました。勉強会では、これまでの勉強会における商業施設の魅力向上に向けた検討の振り返りとまとめを行いました。

三鷹阿波おどり 五十周年

恒例の三鷹阿波おどりが8月20日に開催されました。

今年は五十周年という記念の年なので、再開対象地区内のさくら通り駐車場に特設会場が設けられ、ステージでの歌や阿波おどり、また模擬店の出店もありました。

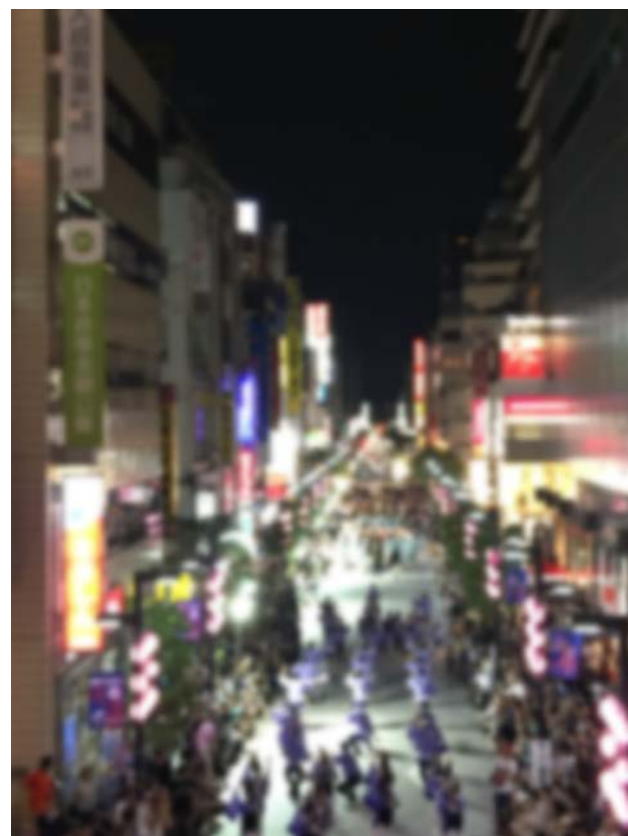
19日は生憎の雨模様で中止となりましたが、20日は天気も回復し、熱気溢れるパフォーマンスが展開されました。

その活気に触れると、50年の積み重ねを持つイベントはまちの活性化のための重要な資源であると改めて感じました。



▲三鷹阿波おどり 五十周年記念特設会場

▼三鷹阿波おどり 中央通り



▼M-マルシェ（6/25）での「みちあそび」の様子

M-マルシェについて

中央通り商店会が主催し毎月第4日曜日に開催されているM-マルシェは、回を重ねるごとに認知度も高まり活況のようです。

再開発事業と周辺商店会との連携も重要なテーマです。

関係者にお話をお伺いしたところ、今年は週末が雨になることが多く、屋根のある空間が欲しいという声も聞かれました。

